

三津浜地区タウンミーティング(要約)

平成25年9月28日(土曜日)

【市長】 皆様こんにちは。今日は土曜日の午後でございます。休日でおくつろぎのところ、このように大勢の方に集まっていただきましてありがとうございます。この三津浜地区のタウンミーティングの開催にあたりましては、まちづくり協議会の会長さんをはじめ役員の皆様のご協力をいただきました。ありがとうございました。さて、このタウンミーティング、三津浜では2年1カ月ぶりになります。なぜ、このタウンミーティングを開催しようかと思ったかという、私が就任させていただいてから始めたんですけれども、市役所で待っているのではなくて、松山市は旧中島町、旧北条市合わせて41地区に分かれるわけなんですけれども、各地区ごとに魅力があったり課題、お困りの点もあろうかと思えます。市役所で待っているのではなくて、我々から出向かせていただいて、そしてお声を聞かせていただく。そして、できることからすぐ市政に反映していきたい思いから始めさせていただきました。また、このタウンミーティングですけれども聞きっぱなしにはしない、やりっぱなしにはしないタウンミーティングにしております。パフォーマンスでしたらもう聞きっぱなしにしたら、またやりっぱなしにしたらということになると思うんですけれども、そうではなくてこの場でお答えできることはできるだけこの場でお答えをして帰ります。またこの場でお答えできない例えば国と絡む案件、県と絡む案件、また財政的な問題があるもの、そういったものはいったん持ち帰らせていただいて、そして必ず一カ月を目途に答えを返させていただくのが松山市版のタウンミーティングでございます。パフォーマンスだったら1巡で終えてたかと思うんですけども2巡目に入らせていただいて、これからも皆さんの声をいただいて、そして市政にできるだけ早く反映していきたいという思いです。今日は三津浜小学校のお子さんたちも来られているようですので、90分という時間です。さすがに肩ひじ張っていると疲れますし、お子さんたちも緊張すると思えますので、できるだけ緊張しないようにぎくばらん前向きな意見交換ができればと思えますので、今日もどうぞよろしく願いいたします。

【男性】 前回のタウンミーティングで活性化ということで、三津浜賑わい創出事業これは各種のイベントなどしていただいて、人も集まっていいことなんですけど、水産市場の問題なんですけど、これは今、賑わい創出ということだけが表に出て水産市場の話が全然聞こえてこないんです。それで、もし朝市の問題を検討していただいているのであれば、観光施設がい

つごろできるか、またその場所の予定地はどこかということをお聞かせしてもらいたいと思います。以上です。

【市長】 はい、これは私からご説明させていただきます。三津の朝市の活性化ですけれども、皆様方から新しい施設の建設する場所や、どれぐらいの規模にしたらいいか、また駐車場の確保のこと、運営はどのようにするか、市場との取引関係の話もあります。店を出す方の資格についても、さまざまご意見をいただきました。特に多かったのは建設場所、駐車場の確保、市場運営に対する影響とか景色の問題、またお客さんの来る見込みなどについて多くのご意見やご提案をいただきました。ですので、今、マーケティングとか経営のコンサルティングの視点から、事業化可能性調査を行っているところです。この調査結果については9月の末に出てくる予定だったんですけど、東京に「財団法人地域総合整備財団」通称ふるさと財団があるんですが、これは全国の民間活力を活用した地域を元気にする、また発展をさせるというのを目的にした財団なんですけど、ここから専門家、地域再生マネージャーの方が二人、三津浜に来られまして8月7～9日の三日間、三津浜に派遣していただきました。そして活性化に向けた助言をいただきましたので、9月末に出てくる調査結果をこれを踏まえたものにしたということで、12月末に結果が出ることになっております。12月末に結果が出てきましたら、その成果を踏まえて関係者の皆さんと協議するとともに、施設の在り方についても検討していきたいと思っています。現在の状況は以上のようなところです。

【男性】 私、三津浜地区まちづくり協議会の安心安全部の部長をしております。三津大可賀公園は松山では一番に大きい公園なんです。それで、あの公園の4面が全部駐車禁止になっとなんです。特にグラウンドを利用する高校生などが来たときには、車で来て1時間半なり2時間なり競技するんです。そのときにパトカーが来ると、マイクで駐車禁止やからのけて下さいと度々聞きます。あの公園へ遠方から来る人は必ず車で来るんですね。私も思うんですけど、現状では整備は困難と考えていますということですけど、市の方も実際に現地を見ていただいとんでしょいかね。私ら毎日大可賀公園で朝9時から11時半までグラウンドゴルフするんですけど、その間でも車をとめとったら西署のパトカーが通ってここは駐車禁止やからのけなさいということで、子どもと一緒に遊んでる父兄の方がすぐに車また移動するんですよ。いうたらたちごっこなんです。これ私の提案なんですけど、あの近くに民営のパチンコ屋さんがあるんです。タイセイいうところ。公園利用者に限りそこでとめて公園へ遊びに行ってくださいということができれば、公園を利用して遊ぶ方が安心して遊べるんじゃないかと

と思いますが、この点ちょっと検討してもらいたいと思います。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本と申します。今、おっしゃられた三津大可賀公園は、確かに規模的には大きめで街区公園よりはちょっと大きめの「近隣公園」と言います。松山市では坊っちゃんスタジアムのある中央公園あるいは総合公園、非常に大きな公園には駐車場をつくっておりますが、実は街区公園とか近隣公園とか小規模中規模のところには、現在駐車場はつくっておりません。今、おっしゃられた提案は民地も含めて、借りて駐車場を置けるようにできないかということですので、今日はとりあえず持ち帰りをさせていただきますけれども、松山市全域の状況もあるということもご理解をいただいて、検討はさせていただきます。以上です。

【女性】 色んな活性化のイベントで先日も「三津バル+」があって非常ににぎわっていて楽しかったんですが、古民家とか古い建物の「三津ハマル」さんの事業なんですけれども、空き店舗の情報収集と貸出しということで、これなかなか簡単に進むものではなさそうですし、私「三津ハマル」さんのホームページも時々見てるんですけど、こういう店舗とかの情報は特にまだできてなくて、こちらの「三津ハマル」さんはしばらく続く事業なのか、例えば今年度とか2～3年で終わってしまうものなのかがちょっと気になるんですけれども、どういったところでしょうか。

【地域振興担当課長】 地域振興担当課長の中富と申します。ご質問のあったとおり、この4月に三津浜地域に「三津浜賑わい創出事務所 三津ハマル」という事務所を開設させていただいております。この「三津ハマル」では、空いた古民家や町屋などの情報収集を行って、未利用物件を有効活用するための町屋を利用したい人と町屋を残したいという人の需要と供給のマッチングを図る事業に取り組んでおりまして、町屋バンクという取り組みを行っているところでございます。店舗の状況については、まだホームページ等でお知らせできるような絞り込みといたしますか調整はできておりませんので、できることからやっつけていこうということで、既に東京から三津浜へ移り住んで飲食店を開業された方、あるいはもう1店飲食店を開業したい方の話も進んでおりますし、更に物販の店も1店開設、3組の希望者が既に出てきておって、1件については実績につながったという状況にございます。それからもう一つ、どのくらいの期間でやるということなんですが、当面の目的を達成するためには3カ年程度は必要と考えておりまして、もちろん議会とか市長の理解のもとでやっていかないかん事業でありますので、3年後には自立を目指した形というのは既に「三津ハマル」を受諾していただいている社長さんにもお伝えしている状況でございます。

す。その方が、実は横浜で古民家を活用して宿泊の誘致をやっている方として、外国人客がすごく横浜へ入ってきて利用していただいて、そこから自分とこの運転資金を稼いでいるというノウハウを持っている方なので、それを三津浜でも展開していこうということをお伺いしております。以上です。

【市長】 ちょっと私から追加をさせていただきます。先ほど市場の話、三津の朝市の活性化とも話が絡むんですけども、三津には古いい街並みがあります。例えば不幸にして戦争で燃えてしまっていたらその宝はないわけですけども、三津浜にはそういった古い街並みという宝があります。この宝を生かしていくことも大事な視点だと思っています。今、三津の朝市をお客さんに来てもらうため、三津の海の幸を生かすために、そのためにはお客さんに来てもらわないといけません。観光客だけじゃなくて地元の人にも利用してもらうような施設であれば、より利用度は高まります。そういったことからどこに建てたらいいのかを慎重に今、調査検討しております。今、国自体が一千兆円の借金を抱えておりますので、仕送りと一緒にですね。親元が苦しかったら当然、子に回ってくるお金がとても増えるとは考えにくい。松山市は中四国の中でいい財政、確かにそれは守れているんですけども、なかなか油断はできない状況です。ですので、この三津の海の幸を使った施設も失敗は許されない。皆様の税金を使わせていただく以上、失敗は許されないわけですから慎重に検討しなければならないということで、今、調査をさせていただいている状況です。せっかく古いい街並みがあるのでそれを全くの空き家にしておくよりは上手くマッチングして使ってもらえればということで、先ほどの「三津ハマル」の事業を始めているわけです。今年の9月にはワインバーがオープンしました。また近々飲食の店舗がオープンする予定とも聞いております。また古本古道具のお店も古民家を活用してオープンする予定と聞いております。こういう動きが出てきているのは、三津浜にとって全然そういう空き家を活用したのがないんですよっていうよりか、いい動きが出てきたかなと思っています。また古い街並みを生かすというので、今年度今年の4月から始めたんですけども、大体昭和20年以前につくられた歴史的な建造物の保全、改修、通りから見える外の壁の改修など、こういったものを補助対象とする「松山市美しい街並みと賑わい創出事業補助金」というのをつくりました。三津浜地区も古い街並みが残っているところで、補助対象区域になっていますのでご活用いただいたらと思います。今年度は6月末まで募集しまして、松山市全体で4件のご応募をいただいて4件とも選ばれました。その内2件は三津浜地区です。来年度分についても今年度中に募集を

始める予定ですので、決まり次第、広報まつやまとかホームページで出して行きますので、ご確認をいただいたらと思っております。よろしく願いいたします。

【男性】 津波の件ですが8月25日に三津浜地区の自主防災会で避難訓練をしました。そのときに高齢者や体の不自由な人たちのために、三津浜地区の高層ビルを一時的な避難場所として扱うことはできないのでしょうか。よろしく願いします。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢でございます。高層ビル等を一時的な避難場所にすることにつきましては、ほかの地域でそういう取り組みをされている自主防災組織もございます。また、松山市もNTTさんと協定を結んでおりまして、このすぐ近くのNTTのビルを津波の際の避難場所としてご利用いただけるようになっておりますので、地域でいろいろと協議をしていただけたらと思います。それにつきましては、西消防署にご相談いただきましたら、署員がご相談に乗ることが出来ますのでどうぞよろしく願いします。

【男性】 私は魚市の横の県の土地、これをなんとか利用してもらえないだろうか。あの土地を生かせば、魚市も三津の活性化も半分ぐらいは達成できるんじゃないだろうかと思っております。もう何十年かあのままほったらかして、いわゆる材木置き場みたいになって、県の土地は国の規制がかかるとも聞いてますけど、そこはなんとか市長さんお願いしたいんですが。あの土地はほんとにロケーションの三津一の景色がいいところでございます。なんとかあの土地を生かしてもらいたい。それで関連しますが、魚市の冷凍庫の大きな高い建物、これは三津の景観を非常に害しています。昔は非常に夕日がきれいでしたけど、あの建物のおかげで全然見えません。九州とか中国地方から旅行者が三津の港に入っても、昔は瀬戸の島々の非常にすばらしい景色、小さな船、大きな船が行き交うすばらしい景色が見えとったんですが、あの鉄筋の大きなのがあって何にも見えません。私もちょっと聞いたんですが、あの建物はもう古くてどうにもならんと。つき合いでちょっとは使いよるけど、今、冷凍庫の値打ちがないんだと聞いてます。どうか、あの冷凍庫のけてもらいたい。この前ふるさと財団の方が来て、三津を審査してもらったんですが、その人も三津のまちは近くの沖にすばらしい景色があると。島々の豊かな景色もあるのに利用してないと指摘があったと思うんです。だからぜひ三津のそういうような景観、景色を利用した三津のまちづくりをしてもらいたい。先日「三津バル+」をやって券を買うてくれた人に、100円で四十島をクルージングするというのもしたんですが、非常に好評でした。やっぱり人間

はなんでも自然は非常にいいもんだと思うんですよ。その辺のところで非常にロケーションのいいあの場所を難しいかもわからんですけど今後、市長お願いしたいです。以上です。

【市長】 皆さんがわかるように、市場のどちら側ですかね。子どもさんでもわかるといいかと。

【男性】 四十島が見えるほうです。

【市長】 市場の海側のところですね。はい、ありがとうございます。

【都市政策課長】 ありがとうございます。松山港、港湾の関係につきましては、おっしゃられたとおり県の関係でございます。松山市から今日いただいたご意見、以前からあるかと思うんですけども、改めて県へ相談させていただいて利用できるかどうかも含めて可能性について協議をさせていただいたらと思います。

【市長】 私自身、何度も自分で歩いて現場を見させていただいております。冷凍庫も大分古くなっているのも承知しております。この海岸に近いところ、私が見に行ったときはクレーンが置いてあったんですが、ここにその拠点施設をつくることのできたら、非常にロケーションもいいし、夕日もきれいに見えるだろうし、海もきれいに見えるだろうし、興居島もきれいに見えるだろうし、すばらしいいい場所だと。持ち帰らせていただいて市役所で検討させているんですけども、県からは、あそこは第一級の港湾施設だと。あそこをそういうような施設にはなかなかすることはできないと答えをいただいております。長年かけて交渉しても先が見えない。どんだけお願いしても、例えば5年かかるかわからん、10年かかるかわからん、例え話ですけども15年お願いしてもできるかどうかの確約ができないんです。私もあそこはすごくいい場所だと思うんですが、なかなかそういう港湾施設以外の場所にはさせてもらいにくい、かなり難しい。市場も大分老朽化してきておりますので、それも含めて考えないといけないので、今、総合的な調査をさせていただいているわけですけども、私もすごくいい場所だとは思っているんですけども、国の考え方とか県の考え方もありますので、なかなか前向いていかないというのが現状であると。

【男性】 でも何十年あんな物置みたいにほっといていいとは言えんでしょう。何十年たちますよ、あの土地は。なんにも生かしてないやない。

【都市政策課長】 ずっと当然協議をしてきております。市の所有ではない国、県の港湾施設でございますので、港湾としての施設の目的でつくったものでございますので、これを用途の変更となるとなかなか難しいというのをご理解いただければと。まことに申しわけないですが。

【男性】 それを変えるのが政治やないんですか。私はそう思うんじゃないけ

ど。いいとわかっとなだつたらなんとか早くやってもらいたい。

【都市政策課長】 はい、改めて協議させていただきます。

【男性】 実は三津浜は戦災に遭わなかった。これ幸か不幸かわかりませんけれども、おかげで100年以上も経った家がたくさんあるんです。この近くでも空き家になって、震度4ぐらいの地震がきたらもうこけて、通路が狭いからそれから奥の人は出れないという防災上の危険もあるんですよ。これらの家を実際は取り壊してその家主にしてみたら家を建ててないと固定資産税が高くなるわけですよ。あれ空き地にしてしまうと。これをもう家を壊して花畑にでもしたら、固定資産税は免除するとか施策はとれないものかと思ってですね。私、いつもそうすると街中にたくさん花畑ができて、三津のまちもちょうど石井あたりのとこと同じような環境になるんじゃないか。実際そこを出てちょっと行ったところも路地ですわね、もし地震でもきて一番出口の家でも倒れたら中の人はどうにもならないと。古い街並みをそのままつくるというのは、北のほうの木村邸とか山谷さんの家とかは残していかないかんだろうし、それはそれなりに補修をしていけばいいわけですよ。しかし、小さな家になると全然補修もしないし、瓦は落ちてるといふ家がなんぼかあります。非常に勝手なことです。そういう政策はとれんのかなと。これ、私個人が考えることですが、いっぺん意見として申し上げておきます。

【都市政策課長】 都市政策課の松本です。空き家の問題についてはテレビでも何回も放送されているところです。おっしゃられたように建物の固定資産税の問題が一つ、それから空き家を取り壊すと非常に費用がかかります。それから相続ができてないところがあって、所有者の方、建物を管理すべき方が特定できないケースもございます。まず結論から言うと、市としてそういう空き家対策についてワーキンググループをつくって、今、検討しております。もう一つは、例えば建物がもう倒れそうで、道路に倒れてきそうだという案件がございましたら、都市整備部の建築指導課がございました。そこへご連絡していただきたいと思っております。条例化も含めて全国的に検討しているところもありますけれども、ちゃんと土地を管理して適正にされてる方とそうでない方を、税金で対応、対処するというのも、そういうこともありますので、十分これは慎重に検討して進めさせていただけたらと思っております。

【市長】 ちょっと私から補足をさせていただきます。小学生のお子さんもいらっしゃるんで。固定資産税というのがあるんですね。更地にすると固定資産税は安くなるか高くなるかというとなります。そういうルールになっています。じゃあ空き家を撤去した家、空き家をなくした更地の固

定資産税を減免すると、こういう流れになっていくだろうと。老朽した家屋は市役所がなんとかしてくれるだろうってモラルが壊れていくと。逆に固定資産税をちゃんと納めている方とほったらかしにしといたら行政が壊してやってくれた、税金使って壊してくれたっていうことになるので平等ではなくなる。普通、私は税金払いたくてたまりませんって人はいないと思います。でも日ごろのごみを収集するにしても、ごみを集める人が要りますね。ごみ収集車も要りますね。ごみ持って帰るだけじゃなくてごみを燃やさないといけません。燃やすための施設も要ります。やっぱりお金がないとまちづくり、行政はできないわけです。そのために税金をいただいているわけですけれども、税収も固定資産税の関係で少なくなっていくでしょう。実は新潟県のある市は、危険性のある空き家を自ら解体した家主さんに固定資産税を2年間据え置きましょうっていう制度を今年の10月にスタートさせたんですが、同じ新潟県の中でそこに続くところはどこもなかったんです。それはやはりそういう問題をはらんでいるので、みんなどこもいい方法がないかってずっとにらんでるんだけど、なかなかいい方法がない。これは松山市だけで起こる事柄なのか、その新潟県のある市だけで起こる事柄なのかというところじゃないです。国全部で同じ課題を持っているんですから、国が一定の税優遇をする法改正、法律を変えようっていう議論が今、始まっているところです。今、松山市としても、ただ手をこまねいて見てるんじゃないで、市役所の中に作業部会をつくって、どう空き家対策をしていくかを研究しているところですので、全国どこも特効薬がないというところで悩んでいるところです。

【小学生】 私は児童館などのみんなで楽しく遊べる場所をつくってほしいと思います。三津浜公民館などがあるけど、例えばクリスマス会などがあるけれど、全体的にみんながいつでも遊べる場所がないのでつくってほしいと思います。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の高橋です。よろしくお願ひします。児童館の建設については、ほかの地区のタウンミーティングでも要望が出ていますが、松山市では中央児童センターをはじめ、市内7カ所に児童館を設置しております。児童館については地区ごとに設置するのではなくて、子どもの人数とか各地域のバランスを考えて、東西南北の各方面ごとに中心となる施設を設けて近隣の近くの地域をカバーする形で設置しています。子育て支援や少子化対策の計画なんですけど、「後期まつやま子育てゆめプラン」の中では、平成27年3月までにさらに1カ所の整備を計画しております。今後、地域間のバランスなども踏まえる中で設置箇所を選定していくことにしています。また、現在松山市の財政状況厳しい状

況を踏まえる中で、児童館単独で新たに建設することは困難であると考えてます。市内の中にはまだ児童館が設置されてない地区もあることから、近くの児童館からの距離が三津浜地区よりも遠い地区があります。ということで現状では三津浜地区への児童館建設については困難ではないかなって考えております。

【市長】 ごめんね。こういう将来を担うお子さんたちからの要望なので、できれば大人としてもできるだけかなえてあげたいと思うんですけど、今、松山市内には七つあって八つ目をどこにつくろうかを考えているところです。三津浜は一番近い児童館が味生なんです。味生の児童館で距離でいうと2.1キロです。でもほかの地区には10キロ以上児童館に行かないといけない地区がいっぱいあるので、まずはそちらを先にさせていただくことになっています。松山市、どこの市もそうなんやけど、お金がいっぱいあったら、わかりました建てましょうっていうことができると思うんですけど、今はちょっとそれが難しい時代になってるので、そういうことができないのでほんとに申しわけないんですけど、今はそういう状況です。

【男性】 このように市長さんをご臨席のうえ、こういう大会を開いていただきますこと大変喜んでおります。我々の声が松山市の行政の中に入っていたということ、力強く思っておりますので、我々が提案した事項について、予算の都合いろいろな都合がありましようが、取り上げていただいたらと思うわけでございます。私から市道の歩道の整備についてお願いしたいと思います。三津浜地区は昔からのまちで道路が非常に狭いということで、車道と歩道が併用されておるということで、必然的に人が通るのは道路の端になります。その歩道の傾斜が急なところもあり、同じ側のだけを歩いておりますと、体に違和感を感じることもあるんです。それで、以前に外科医の先生に相談してみますと、道の左と右を交互に歩いたらどうかということで、これやりますと違反になるんじゃないか思ったりもするんですが、住吉の道路は非常に整備されて、あそこを歩いておりますと非常に快適に通れます。また、新しい歩道をつくっていただいたところは非常に快適で歩きやすいと思うわけでございます。道路工事の出来高検査のときには、道路の延長とか幅員とかアスファルトの質の問題など、厳重に市で検査されておると思うわけですけども、歩道の部分の傾斜については、現在のところ見てみますといろいろな傾斜があります。私の近くの道路で、最近下水工事をやった後を見てみますと、歩道の部分が非常にきつくなる。以前の道路よりはきつくなっておると。測ってみますと7%の傾斜があるわけですね。業者さんによって歩道の部分の傾斜がまちまちなようでございます。歩道部分の傾斜が急にならないように、市で工事の場合

指導していただければと思うわけでございます。現在、車社会で車道の部分はいろいろ研究されて整備されておりますが、歩道の部分について整備は人にやさしい、また歩きやすい安全な歩道をつくっていただきたらと思うわけです。私、毎日散歩しよるわけで、そこで感じたことを小さい問題かもしれませんがここで提案いたしまして、よろしく願いいたします。

【都市政策課長】 都市政策課の松本です。ご意見ありがとうございます、後ほど具体的な場所を地図で確認させていただきたいと思っております。松山市の市道につきましては、道路管理課が所管して日常パトロールも含めて、いろいろなご意見をいただいてそれに対応して整備をしております。歩道で若干傾斜がきつところがあるということで、古いところではそういうところも多くて、できるだけ傾斜がないようにするようにしております。それと下水の工事を言われましたが、市道の道路占有は下水だけじゃなくてほかの工事もいろいろとあって、その後の補修の状況が悪いところもあるかと思っております。そういうところは、当然道路管理課へ市道の道路占有について申請が出た上で工事をしてはいるんですけども、そのときに当然指導はしておりますが、ご指摘いただいてより一層補修の工事がちゃんとできるようにしてまいりたいと思っております。後ほどまた場所確認させていただきたいと思っております。

【市長】 特に道路のことですか、ここの場所がちょっと危なく感じるんよとか、ここがちょっとでこぼこになつとんよとかありましたら、都市政策課長が担当でありますので、どうぞ遠慮なく言っていただきたらと思っております。皆さん市道があります。県道があります。国道は皆さん大体わかりかと思っておりますけれども、私道、個人の方が持っている道路もあります。どこが市道でどこが県道でどこが私道なんてわからないですよ。ですので、もし県道だったら我々から県に伝えることもできますので、遠慮なく我々に言っていただきたらと思っております。ただ、一番伝わりやすいのは、例えばうちに直接言っていただきたらものすごくこうしたらいいんだっていうのが伝わりやすいんですけども、やはり直接言っていただくのが一番伝わりやすい。ですので、我々も県の案件だったら県に我々からも伝えますけれども、皆さんも言っていただくと、いやそんな大げさなことをお願いしよんじやないんじやがねと、これをこうしてくれたええだけなんじやがねっていうことが往々にしてありますので、そういうところは伝わりやすいので、我々から県とか国にも伝えますけれども、同時並行で皆さんからこうしてほしいんよと言っていただくと一番伝わりやすいというのを、このタウンミーティング重ねさせていただいて感じております。です

ので、皆様市道か県道か私道かわかりにくいと思いますので、どうぞ我々に遠慮なく言っていただけたらと思います。できるだけ早く対処いたします。

【小学生】 私は三津の商店街のアーケードのことで、昔はアーケードがあったらしいんですけど、私は見てないんで、今は壊されたので壊された理由は知らないけど、復活ができるならしてもらいたいと思います。

【都市ブランド戦略課長】 都市ブランド戦略課長矢野でございます。アーケードどうして撤去したのかというお尋ねですけれども、これは地元の方のご意見を伺って8年程前に撤去をされていますけれども、アーケードで薄暗くするよりも、青空の見える明るい商店街のほうが快適になるんじゃないかというご意見が多々あって、松山市からも、それから県からも支援をさせていただいて、地元でアーケードを撤去していただいた経緯があります。今は、いろいろなまちづくりの取り組みで飲食店とかカフェとか、新しい楽しいまちづくりが進んでいると思いますので、青空の下でということも、ひとつ影響しているかもしれませんので、ぜひそういった点も考えていただいて、これからのあり方については、地域の方で話し合っていて、どういうふうにしていけばいいのかをまた相談しながら、こういう考え、ああいう考えというのが出てくれば、また私どもに声を上げていただければと思っています。以上でございます。

【市長】 そうかアーケードあったことは知らんか。昔はあったんですよ。アーケードがあったらどんなところがいいかなと思う？教えてくださいな。みんなで相談してもいいよ。ちょっと難しかったかな。

【小学生】 アーケードがあると、雨の日も通れるし、なんか雰囲気が出るからです。

【市長】 なるほど、わかりました。大人は何でもいいことと悪いことと考えるんよね。アーケードがあったらいいこともあれば、逆に悪いこととか何とかしなければいけないこともあるんよね。アーケードを建てようと思ったら何をしないといけないかな。何が必要だと思う。そうやね、ただでアーケードできたらいいけどやっぱりお金は要るよね。じゃあアーケード建てようと思ったら、誰がそのお金を出すのかなあというのもあるよね。そういうことを大人はいろいろ考えながらどうするか考えよるんですね。こうやってまちのことを考え始めるのが、まちづくりのすごく大事な一歩やと思うんよ。三津は「平成船手組ジュニア」という組織もできてて、松山のどこの地区にでも子どもさんが出るような組織があるわけじゃないから、みんなまちのお仕事をするいい仕組みができていって、三津はいいと思います。今、みんなが考えてくれたのは、まちづくりのいい一歩

だと思うんで、また、まちのこといろいろ考えてみてください。ありがとう。

【男性】 何でもそうなんですけど、こちらにも出ていた「三津ハマル」とか三津に関する事業は、課が違った場合に全く三津の住民に知らされずに物ごとが進んでいくことが往々にあるしてあるんです。ですから、課が違えば縦割り行政で、連絡するところも違って一部の人間にしか伝わらないということが多々あるんで、それを何とか横のほうに情報がある程度一本化して回してやってもらいたい。三津に関することはこちらに流すとか。一本じゃなくて何本というかそこに統一して流すという形に持って行ってもらいたいということがあるのと、やる場合は事前に調査してるとは思うんですが、先ほど市長さんもおっしゃっておいりました三津は古いまちということで、いっぱい戦前に残っておった建物があったんですけど、まず行政の建物を残してほしかったと思うんです。三津の図書館は、今の石崎汽船社屋よりもものすごく立派な図書館で、シャンデリアもすばらしいものがあって、それをいつの間にか消えて新しい鉄筋コンクリートの図書館になっておりました。なぜああいう、市、自ら持っている文化遺産を取り壊してやっているのかが、私には理解ができないところもあります。小学校にしても昔は校舎が三つあって、三番目の一番南校舎のところの凱旋門みたいな門があったんです。戦前からそれがありまして、ここが火事で焼けたときにもその門だけが残って、校舎建てたときにまたそれを利用して、子どもたちがそこを大門と言いつたんですけど出入りしてたんです。それが、取り壊されなくなってしまいました。必ずそこでうちの父親の時代から卒業写真とか記念写真は撮っていたんですけど、それがなくなってしまいました。次が正面のソテツのロータリーです。これも卒業とか何かの記念のときには必ずそこで写真を撮るような、今度新しくなるときはこれも撤去されてしまいます。そういう小学校は小学校の象徴があるということを、やる前に皆さんに知っておいていただきたい。あのソテツは、今、新しくなった支所のところに同じようなソテツがあったと思うんです。それと小学校のソテツは同時期に植えられて、向こうからこちらに小学校が移転したときの記念樹として植えられたもの。そういうことを知らない世代がどんどん増えてきて、ほとんど皆さんは知らないと思いますが、そういう経緯でソテツがあって、両方ともロータリーになっていたと思うんです。同じ形式でソテツとクスノキを植えていたという。ですから、何でも新しくしたらいいのではなくて、大事なものとそうじゃないものと一応、前もって調べて区別をしてもらいたいと、事業やるときは市の方々にお願いしたいと思います。

【市民部長】 市民部の吉野と申します。代表してお答えしたいと思うんですけど、私も昔の経緯を全く知らない立場でお答えするので心苦しいんですけども、過去に地元の方に全くお知らせをせずに急にやるようなことはおそらくしてないのではないかと思います、ただ縦割り行政という言葉があるように、実際の事業課は気がつかなかったことも可能性としてはありまして、本来お知らせすべきであった人等にお知らせしなかったことも可能性としてはあります。私どもの中で、市長以下「庁議」という部長以上の会があります。そういうところでもお知らせするとかして、今後そういうことがないように今後の事業も含めて反省の一つとしてお言葉として受けとめたいと思います。ちょっと一応持ち帰りという形で、反省の言葉の一つとして持ち帰らせていただきたいと思いますんですけど、それでよろしいでしょうか。

【市長】 私から追加させていただきます。私は皆さん御存じのように一市民からこの立場をいただいた人間です。この立場をいただいて3年になろうとしてますけども、行政は癖みたいなものがありまして途中段階はあまり言わないです。決まったら言う形だったんですけども、皆様からするとあれ言ったんだけれども、どうなっているんだらうって思われると思うんです。ですので、できるだけ途中段階でもいいから言おうという形で今、進めています。そして広報の手段も広報紙に出ています、ホームページに出していますだけじゃなくて、もっとやり方はあるだろうと。各一軒に回させていただく回覧板も広報手段の一つだし、支所の壁も広報の一つだよ。私、就任させていただいてから、支所の壁に三津浜地区の取り組みについて、三津の支所にも出ていると思うんですけども、とにかく今からは市民協働のまちづくり、行政が押しつけるんだったらいかん。市民の皆さんと一緒に動く、行政の車と市民・地元の方の民間の動きが同じになってちゃんとまちづくりが進んでいくと考えています。ですので、これからますます説明をしっかりとやっていきたいと思います。これからも口酸っぱく言っていこうと思うんですが、どうぞ皆様方にもお願いですけども、行政と地元は反目するようだと、進むことも前向いて進まないと思います。行政と市民の皆さんとは反目する関係じゃなくて、一緒に手を取り合って進むと、物ごと前に向かって行くと思いますので、どうぞ敷居を高くなさらないように、市役所に相談していただいたら、それはちょっとできないんですけど、こういう方法だったらあるんですよ、そういうこともお伝えすることができると思いますので遠慮なく相談していただきたいと思ひますし、できるだけ説明に努めたいと思ひます。また、失礼な態度とか配慮のない行動する職員がいた場合は、松山市のホームページに「市長へのわがまちメール」

直接のメール制度もあります。はがきや封書で私のところにも手紙いただいても結構ですので、遠慮なく言ってもらったらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【地域振興担当課長】 地域振興担当課長の中富でございます。事業の情報が一部の人にしか伝わらないということなんですけども、地域への情報発信は当然のことながら重要であると考えておりまして、さまざまな方法、チラシであったり先ほどおっしゃった「三津ハマル」のホームページであったり、ポスターであったり、あるいは一番効果的なのは松山市の広報を活用して、さまざまな形で皆さんに情報をご提供させていただいております。先ほど来出ております「三津バル+」にしても、予定枚数250枚のところすぐチケット400枚に達したとか、そういったこともあるので、情報発信については今後も取り組んでまいりたいと考えております。以上です。

【小学生】 お金がかかるのはわかっているんですけど、三津浜は「三津浜焼き」が有名なので三津浜広場のようなところがあると、にぎやかになって楽しいと思います。

【地域振興担当課長】 地域振興担当課長の中富でございます。そうですね「三津浜焼き」結構有名なものがあります。皆さんが住んでいる三津浜にはさまざまなおいしいものがあり、「三津浜焼き」以外にもお魚であったり「鯛めし」あるいは「松山鮓」といったたくさんの豊富な食の資源、食の文化が育っていると考えております。おじさんも食べることを大好きなんで、特に「三津浜焼き」はいつもこちらに来るとお店に行ってお店に行っている状況でして、地域の残るそういった食、「三津浜焼き」を含めて、食を生かしたまちづくりも一つの手法と考えていて、まちおこしもそういった形で取り組んでいきたいと考えているところです。以上です。

【市長】 今、三津浜でせっかくの美味しいお魚があがるので、そういうお魚をもっと食べてもらいたい。また三津浜には「松山鮓」があったり、今、おこぜを食べてもらおうという動きも出てきたりとか、「三津浜焼き」もあるし「鯛めし」もありますよね。そういうおいしいものを、今からもっと三津の海の幸を食べてもらおうというところの横にでも持ってこれたら、お魚も楽しめるし「三津浜焼き」も楽しめるし、「鯛めし」も楽しめるし、「松山鮓」も楽しめるとか、そういう形で色んな観光の人も来るし、地元の人にも来るそういう場所ができればと思っておりますので、思いは一緒だと思いますよ。よろしく申し上げます。

【小学生】 通学路のカラー舗装なんですけど、緑色の色がついているところとついていないところがあって、通学路でついていないところがあるの

でつけてほしいなと思いました。

【都市政策課長】 通学路につきましては昨年、一斉点検を松山市内全域で行っております。三津浜地区についてもさせていただいております。まず結論はしてもらいたいところの場所を後で住宅地図で教えてください。通学路の箇所については今日教えていただくところ以外でもこうしてもらいたいというところがあるかと思います。教育委員会と都市整備部、総合交通課や道路管理課と一体となって今後とも整備に努めてまいりたいと考えております。以上です。

【男性】 実は今日のために三津浜中学に行って生徒さんといろいろ話をしてきました。10番目のところに書いてあるんですが、机のことを言っておりますけど、同じときに戸棚の話をしたと思うんです。そのときに、学校の施設課の担当の方が戸棚のことで大規模改修時に対応と言われたんです。大規模改修はどういうことかちょっと私もわからないので手短かに説明してほしいと思います。それと、中学校に入って一番感じるのはスペースが机が多いので非常に窮屈な感じがします。だからこれを今40人体制、予算の関係で難しいと思うんですが35人体制になればある程度教室も広く感じて色んなものが置けると思うんです。それと机は教科書を入れるとほとんどスペースがないです。そのあたりを今後、子どもたちのために配慮していただきたいと思います。それと最初のことなんですが、中学校で一番新しい校舎は北中学だと思うんです。この北中学の教室のスペースと三津浜中学の教室のスペースは同じか北中学が広いかそのあたりもお教え願えたらと思います。

【生涯学習政策課長】 生涯学習政策課の津田と申します。今のお話でございしますが、手元に資料がございませんので即答はできませんが、おそらく新しくできた学校のほうが全体的に広いスペースを取っているケースが多いと思います。机の大きさは基本的に同じだと思うんですけれども、40人学級を35人学級にするようになると、当然クラスの数が今のままでいくと増える、担任の先生も増えるという形になりまして、先生は県の任用職員になりますので、県との相談で現在学校の担任等を配置してもらっておりますのでそういう問題も起こります。いずれにいたしましても、資料等がございませんので、正確なことが申せませんので、こちらから改めましてご連絡差し上げますのでご理解いただければと思います。

【小学生】 三津浜中学校のところの歩道橋が滑りどめが取れて欠けていて、それと横の手すりが高いので高くしてほしいです。

【都市政策課長】 都市政策課の松本です。さっそく現場を担当課に見せまして対応をちゃんと検討させていただきます。

【市長】 さっそく行ってくれるそうです。ちょっと手の挙がるのが落ち着いたようなので私から言わせていただくと、去年の春だったと思います。京都で通学路で不幸な事故がありまして、先日も無謀な運転をする人がいて通学路での事故があったようですけれども、去年の春の事故を受けて松山市では通学路の一斉点検をさせていただきました。これは学校の先生方にも出ていただいて、国道・県道・市道もありますので、国・県・市が一体となって取り組むと。保護者の方にもご協力をいただきました。夏休みに一斉点検をさせていただきました。そして松山市のホームページを見ていただいたら、例えば三津浜小学校の校区だと、こういうところが危険でした、このような対策を取らせていただきますというのを全部出してますので、今日は時間の関係もありますので、ホームページ見られる方は見ていただいたらと思います。このように危険な場所を知ったら、ほったらかしにしないでできるだけの対応をすることにしております。また松山市では去年石井東小学校をモデル校にして、子ども目線の交通安全マップづくりをさせていただきました。それは石井東でモデルケースができると、小学校全体に広げることができるので、子ども目線の交通マップづくりをさせていただきました。これは金沢に三国さんという全国的にも有名な交通安全マップづくりの達人の方がいらっしやいまして、金沢に行ったときにお会いしてその方法を教えてもらいました。子ども目線の交通安全マップは大体一家族に一つ地図を渡してしまうケースが多いんですけれども、大人が目線と子どもの目線って違います。一家族に一つ渡してしまうと大人の見方でかき消されてしまうので、子どもにも1枚ずつ地図を渡して子どもが危険だと感じる場所をマークしてください、そして反映しますという子ども目線の交通安全マップづくりを今年は全小学校でやっています。ですので、子どもの通学路のことについてはほったらかしにせずに、できるだけの対応をするということをやっていますので、また皆さん危険だと感じる場所があればこの後でも教えていただいたらと思います。

【男性】 タウンミーティングも2巡目ということで、野志市長さんも力を入れられておると思うんですが、実は松山市が発行している広報紙は月2回で1日号と15日号。それを見ていると各地域のタウンミーティングの開催日は次がいつですとか、仮に石井地区がこういう話がありましたということを簡単に書いておるんですね。これ私の提案なんですけどタウンミーティング通信とか、広報の毎回ではなくて半年に一回とかタウンミーティング各地域のタウンミーティングをした情報を広報紙に載せてもらえば、今、市長さんが言われましたホームページを見てくれ言よりまずけどホームページを見てない家庭も大分あると思うんです。広報紙にタウン

ミーティング、各地区でこういうことを検討しておりますとなりますと、我々のまちも参考になると思うんです。これを検討してもらったらと思います。

【市民部長】 ご意見大変ありがとうございます。タウンミーティングの様子につきましては、今もおっしゃったとおり広報まつやまで出された意見の概要や参加された方のご感想などをご紹介しているほか、市のホームページで議事録や意見の対応状況を詳しくお知らせしております。また地域によっては開催の概要を回覧板やまちづくり協議会の広報紙でお知らせしているところもあるようです。ご提案の例えば全集という形にしますと、議事録はA4サイズで20ページぐらいになってしまいますので、広報まつやまの紙面に一度に掲載することは困難でありまして、基本的にはホームページでご覧いただいたらと思いますけど、おっしゃったようにホームページ見られていない、見にくいという方もおいでだと思います。それで今後広報まつやまでも機会あるごとに、特集としてタウンミーティングの様子をお知らせしてまいりたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

【市長】 私から添えさせていただきます。広報紙は全戸配布をさせていただいております。発行部数も多いです。ページを1ページ増やすと表裏に印刷しないといけなくなりますので、その分の発行部数も増えますし、印刷代もかかります。全戸配布で量もあるので、タウンミーティングのことを評価していただいてありがたいんですけども、広報紙でやっちゃうともものすごく額が上がりすぎてしまう。ホームページでやるのがお金のことを考えるといいかなという状況ではあります。さっき小学生のお子さんからお金が要ることとと言われてちょっと私も申しわけないなと思ったんですが、今、松山市は中四国の自治体の中では健全財政だと思います。でも油断ができないのが現状です。やらなきゃいけないこととして、松山駅は例えば今治駅のほうが立派な駅だと思います。どっちが県庁所在地の駅かって思うような。もともと松山駅ができるのが後だったんですけども、松山駅、大分古くなってます。松山駅の改築もやらなきゃいけません。古いですからバリアフリーの配慮もなかなかできていませんし、高架だと自由にもっと車が東西行き来できるんでしょうけども、それができていない状況なので、これは松山市だけでやっちゃうと苦しいので、JR松山駅の高架事業は県がやる、そして周辺の整備事業は松山市がやるということで県と市で松山駅の改築事業を進めています。また松山外環状道路を今、坊っちゃんスタジアムの横を建設中なのが見えますけれども、あれは松山インターチェンジと松山空港の間が30分以上かかるんです。松山インタ

一チェンジから下りて、天山・朝生田へ入ってきて環状線回ってそして新空港通りを下りるといふ形だから30分もかかるんですけども、斜めに渡すことができたなら30分のところが10分に短縮できる。そのほか緊急のときの輸送路になるとか、交通渋滞が緩和されるので事故の減少につながるとか、二酸化炭素の排出が抑制できるとかさまざまメリットがあるので、松山外環状道路をつくっております。また今、市民会館は延命化するために耐震化工事をしてしています。コミセンも大分古くなってきていますので、これも何らか手を入れなければいけない。また学校はお子さんたちが長い間過ごす場所ですから、学校の耐震化も計画的に進めなければいけない。公民館の耐震化も進めなければいけない。地震のときに上水道が止まったというのでは困りますので、上水道管の耐震化も進めなければならない。やらなければいけないことがどこの自治体もそうですけれども山積みになってます。ちょうど高度経済成長につくったものをどうするかが今の時代になっています。ですので、油断ができない状況ではあります。こうやってタウンミーティングをさせていただいて、皆さんからこれやってほしい、あれやってほしいと言われます。私も人間ですので、わかりましたこれやりましょう、わかりましたこれやりましょうと言えたほうが私も楽です。でもよくよく考えてやらないと、いったん松山市がつくってしまうとそのときに建てるお金とずっと維持管理費用がかかります。ですので、その辺もよく考えながらやっていかないといけない。だからといって何もしませんというのではないんです。皆さんの声にしっかりと耳を傾けるためにこのようなタウンミーティングをさせていただいて、そして今、何をしなければならぬのか優先順位をつけさせていただいております。最後になりますけれども、一市民からこの立場をいただいた人間ですので、私はできるだけ行政と皆さんとの距離を縮めたい。もっと身近に感じていただける行政にしたいと思っています。市民の皆さんの役に立つところで市役所でなければならないと思っておりますので、どうぞ皆さん敷居を高くなくさらずにこれからもさまざま話ができるような関係でありたいと思いますのでよろしくお願いします。今日は本当に、中にはもっとゆっくり手が挙がる場所があるんですけども、さすが三津浜だな、立派だなと思いました。活発な意見交換をさせていただきました。本日はまことにありがとうございました。

— 了 —